京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

定價 本紙一枚金三錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月前金[illegible]
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金[illegible]
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 [illegible]
發行所 京城新報社
仁川支局
東京支局

●冥府の伊藤公へ（三）

苾々縮々庵主人

●侯爵閣下曾禰子の薨後即ち四十三年寺内伯の統監は寺内伯代つて其の任に當り總督て伯は八月二十九日併合の大業を決行いたし候而して其の當時に於ける朝鮮の人心は極めて平穩靜謐にして自ら併合の宿命を感ずるもの〻如く上下一人の頑狂者を出さず平々坦々の裡に斯の大事を行了いたし候之れ並し寺内伯の手腕の偉大なるに依るものありとは云へ亦閣下生前の劃策與つて力あるものといはざるを得じされば朝鮮は偉ふ寺内伯は先驅の御闢立を爲せし者を取り上げしに過ぎざるなりとされど箸の取り方の巧拙如何は偏に伯の手腕にあり伯たるもの大に戒むるに足る閣下以て如何となす。

◎閣下閣下の政治は概して穩やかなりき曾禰子の政治は枝游しかりき而して現寺内總督の政治は嚴正なり[illegible]されば閣下の政治は春風の悠々たるが如く曾禰子の政治は秋風の蕭々たるが如く寺内伯の政治は朔風の習々たるが如し故を以て閣下の政治は生氣横生して人心常に新に曾禰子の政治は寥氣瀰漫して人心常に滅入るの感あり而して寺内伯の政治にいたつては今更役に嘗ふを要せず聰明なる閣下の推測に一任いたすべく候。

◎閣下予は今に及んで敢て逝ける閣下を想ふに非ずされど活ける閣下の偉業は之れを想はざるを得ず而り閣下の政治が常に穩やかにして人心を新にせし印象と事蹟とは現在に於て果た將來に於て歷々世人の頭腦に殘つて疑ひなきことは敢て言ふ迄もなき所なり「何んといつても閣下は立憲的政治家なり」と繰り返へされ居る多くの國民の讃辭は恐らく今後と雖も繰り返へさる〻事と存候蓋し這回の內閣更迭の如きも其の犠牲首相が幾多の難關を控ね將來之れに處するの道なき爲め遂にヴッチャリ｜出でたりとは云へ兎も角も其の理由が人心を新にすといふにあるは首相自らの公言するところ正に之れ立憲的政治家の態度といはざるべからず候夫れ然り豈に夫れ然らんや政治の要は啻に人心を新にするにあり而して立憲的政治家は常に人心の嚮背就離如何に眼を注がざるべからず候。

◎閣下內閣更迭といへば桂內閣は愈々去る二十五日閣員聯袂闕下に伏奏して骸骨を乞ひ辭職いたし候而して後繼內閣は西園寺內閣と決定せるも表面未だ顯職の定まらざるため未だ發表の運びにいたらざるも園侯參內して大命を拜したるとの事に候されば爰一兩日の內には決定し同時に人心を新にすると共に世は往時の政友會內閣となり益々輿論の價値を尊重さる〻事と相成るべく候閣下或は生前ならばとの憾みあらんも兎も角大局に於ては異議なき事かと存候（二十八日午後二時稿了）

●五分錢

武猛獅

○娼妓の卑めらる〻は何故ぞ問はば底淺き人々は女の節操を金に賣る故と事もなげに答ふらん。いかに莫迷者なればとて濁溜して若溜に飛び込むもの〻あるまじきに節操を賣るは自發の行動なるべきかは、余儀なき事情の他動なり、節操を賣るを以て卑しむ可くは賣らしめし者を卑しむ可し買ふ者も亦卑しむ可し。娼妓の卑しむ可きはこれに非ず。女の節操は人格也、夜毎々々に人格を蹂躙せられてしかも拒むを得ざるもの現れ遂に之を散ずる能はず、節操は只之を拒むを得るのみ。吾れは節操が女子の人格を形つくらざる時代に於て娼妓も亦尊む可き職業の一なりとせん

○吾れは此地の藝者を知らず。知らんともせず。浮川竹の流れ〳〵て落栗や素足に歩まば刺やさる〻らん

○今日老文明の國々の如く女子多き爲に又生活難の爲に女子の結婚が一の疑問となりたる時代に於て一部の女子は結婚を禁止せられ居るに同じ。此社會の下に在つては節操の遊の弛廢するは己むを得ざる所。

○尠きは多く尊ぶ。男子族の跳梁は東西ともに今日を以て最とせん。女子や愕かざる可からず、惱てざる可からず、專ら男子を捕ふるに苦慮せざる可からず。於茲乎、女子の美はしき今日に過ぐるものなし、男子族の幸福何ぞか之に過ぎん、語を寄す京城の好男子諸君、美人の爲に一宵千金を惜しむ勿れ

○今後一世紀、女子の開放行なはれなば當時の男子必ずや云はん、希くば生を百年前、乙女媚ぶる東洋女護ヶ島に享けん哉と

○鎭南浦人口三千、官之が爲に四十五萬圓を投じ三年計畫を以て給水人口二万五千の水道を敷くと。窮乏とは何處の國の財政やらん、憾むらくは我兜富裕なる總督府を叔父さんに持たざりし事や

○鎭南浦民傳へ聞いて曰く、四十五万圓を散じて吾れ〳〵に百五十圓宛與へなば鎭南浦三年ならずして五萬の人口を得ん、水道甞て人を生みし事を聞かず

○天勝とても朝鮮を阿米利加に化すを得ず、總督府の驚露驚く可し

○昨、天勝を見る。昨年母を率じて東京の宮戸座に、一昨年友と共に某座に鮮巧ならぬ吾れにも種はわかるなり。種だにわかれば三十女の白粉の如く苦が〳〵しきものなり

●俳句

花火十句

多田千春

篝りには限りなき世や揚花火
揚花火川を隔て〻眺めけり
更けて聞く松風さびし遠花火
打揚げる度に手の鳴る花火哉
星一つ花火の跡に光りけり
東の間の色を競ふて花火かな
奉納の仕掛花火や紀念祭
散る方へ人の氣も散る花火哉
高樓に御成りの宮や遠花火
揚花火觀光團を迎へけり

外事一束

▲テヘランの露公使波斯政府に對し鐵道建設道路築造を露國に許せば廢帝を露國內に幽閉せんと曩に廢帝を援け波斯窮するに及んで此言有無信甚

▲英國會社清國南北洋艦隊の旗艦乃るべき二巡洋艦引受運動中と三菱傍觀

▲九廣鐵道に多大の讓歩を得たる英政府は爲に香港革命黨を驅逐すと云ふ

▲樺太人世界の金穴英國商ウエールス州に於て方外の家賃を課したる爲暴徒蜂起數日に亘り擾亂掠奪す紳士國にも破戸漢あり猶太人天下身を置所なし

▲滿州大臣我國を訪ひ歸來語て曰く日本は滿州に對し敢概心無しと陰路のみ

▲摩國問題に關し佛紙次第に自屈し此上の讓歩を容れんと老來意氣衰ろう

▲乃木大將臨賓にて伊藤公遭難地を見舞ひ直ヒ浦鹽に向ふ英姿に接す近

▲天津南門外阿片器を山の如く積み之を燒毀す禁煙會員會する者數千人と

▲湖廣總督各新聞紙の保證金を追徵し諸新聞廢刊す新聞條令勵行の結果也

▲東三省水害の爲民食缺乏の虞ありとて趙總督三省の米穀輸出を禁ずと

▲京張線連絡長く懸案たり此度彼我の意見一致し兩三日中調印す可しと云

▲摩國問題愈々險難佛は公果の大部分を讓與し報償として摩國保護國設定

▲せんと然かも北部地方の大演習を中止するに對し獨は佛境三州の豫備兵

▲非常の多數を召集し大に威壓せんとす佛國の爲に一滴涙なかるべからず



召使れ初

第百三十四回

黒法師

此聲を聞くと齊しく、助藏は座にも塔らず、立つにも起ち兼ねて、わな〳〵と慄ひ出しぬ、れ德は必敢くるれと覺りて、間の襖を細目に開く、式臺の外…に立ちしは深編笠に面を包みし大小立派の武士なりき

「これは入來でござりませ、倅事今朝の程より急病起り打ち伏しでござりまするで什麼の御用かは存じませぬ、委細私へ仰せ聞け下さりませ」と事もなげに云ひ出でたり

「助藏どの御病氣、少しも存ぜぬ然し大した御容体でもござらぬか、拙者虎の門れ屋敷に勤むる者、是非れ目に掛りたい儀もござる、御病室へ參上、只一言申し上げては何うござらう喃」と據なげに云ふ、れ德は隙さず

「虎の門れ屋敷と仰せ遊ばすは、石州濱田の御城主松平周防守樣の……」

「いかにも濱田の家來でござる、恐れながら助藏殿御病室へ御案內は下さるまいか



「切角れ頼みではござりまするが、例の通り、親類の者共參り、家內混雜の折柄、却て恐縮にも心得まするで、御用の大概、私へ仰せ聞け下さらば有難き仕合せに心得まする」

「御親類衆の詰合とあつては、れ目に掛る譯にも參らぬ、併し其許助藏殿御母儀で在らせらるか」

「助藏母でござりまする、不束作、毎度御懇命に預るよし、私から逢々れ禮申し上げるでござります」とれ德は飽くまでも如才無く「御用の次第、仰せ聞け下さりませ」

「御母儀とあれば遠慮は要らぬか、誰樣へも內聞、ちと秘密の用談でござる」

「た氣遣ひなされまするな、倅御厄介に相成るれ方、御內談と仰せあると、他人へ口外致すやうの事ござりませぬ」

「それ、承はつて安堵、先日以來、助藏ぞのふりれ頼みの次第もあり、又當方より御願ひ申し上げた事もあつて……」

編笠被りたる武士は、案外に思慮なかりき、れ德が助藏母と云ひたるに安堵や爲けん、聲を秘めて心中の秘を打ち開けんとす、此有樣に驚きたるは助藏なり、我にもあらず臺所の襖の陰より駈け出し

「正木殿か、よくれ尋ね、委細は追て申し上げる、何事も仰せられで、今日は此まゝれ引き取り……」と奧の方に目交せして「喃、喃」

「こりや意外、只今御病氣と承はつたが、此分なら心配にも及ばぬ、實は例の……」

「何事も……何事も……」と助藏は抑へ付け、「時機が惡い早やれ引き取りあらせられ」

「さらば拙者方へれ越し下さるか、昨日の一儀思ひの外よく運びて、例の方も御満足、ついてれ頼みの一條も……」

「それも後刻、當方より參上、萬事御意を得るでござる」と助藏は慌てたる顔なりき、編笠は漸う呑み込み

「心得申した、さらばれ小屋に相待ち居る、例のれ方もれ待ち兼ね、一刻も早う御出馬の樣頼み存ずる」

云ひ捨てゝ悠然と立ち去りき、助藏はその背後姿を見送つゝ、額の汗を押し拭ふ、れ德と助入とは互に顔を見合せて惘れ果てたるばかりなり

京城新報

民間功勞者の表彰

瑞雲靉靆、豐榮のぼる旭の御旗は、內地人は勿論、新附國民の月毎に翻へり男女となく老幼となく、併合第一週年を祝し、國家の進運を歡喜して已まざるの狀を見る所以のものは、是れ我皇の御聖德と、國民克く陛下の大御心を體し、國民性の發揮に努めたるの結果なりと言はずんばあらず。

それ、國家の繁榮隆昌は、國民經濟の發展に俟たざる可からず、而して國民經濟の發展は國民性の完全圓滿なる發達に待たざるべからず。若それ國民にして國家的觀念なくして、唯個人の利益をのみ希ひて、國家の進運に資する覺悟なからむ乎、焉ぞ國家の隆昌を慶賀することを得んや。之れを支那人が地球上至る所に其影を存せざるはなきに、國家的觀念を缺ける彼等の勉勵は國家に何等の稗益をも與へず、國家は依然として振はざるものあるに徵しても明らかなり。我國民の發展は眞に國家を益せむとするの目的によつて劃策され、其海外に在るや隨所必らず國民的基礎を築き、一致團結以て國力の扶植に努め、而かも之れに成功せしものは在鮮內地人なりとす。

吾人、茲に事新らしく言ふ迄もなく、平和的に國力の膨脹を遂けむとするに第一必要なる條件は、此れ通商貿易の盛大を期し、之に由て國家の富源を計るにあり。而して在鮮內地人は實に其通商貿易の先驅者にして、併せて殖民的發展の價を購ひし者なり。其多數は半島に未だ我勢力圈と認められざりし時代に來つて、孜々國民的活動をなし經濟的の地盤を開拓し、日露の關係今日に及べり。而して其後の經營は容易ならざりしものにして、其間の悲慘を忍び、暴徒と戰ひ困苦と鬪ひつゝ、克己勵精怠らざりし賜なり。これを彼の威力と武備の後援に擁せられ、厚祿の下に官令任ひをなす輩と、世間一に語るべけむや。故を以て、吾人は舊日の紙上に「併合の行賞を民間に及ぼせ」と題し、在鮮內地人が、官府の慫慂に頼らずして、種々の艱難を凌ぎ早くより公共機關を設備し、國力膨脹に缺くべからざる事業を經營し、植民的に經濟的に我國是の遂行を圓滑自在ならしめたる功勞を事示し、併合の行賞は單り官吏のみに止まらず、民間にも之を及ぼすの當然なるを政府に望みたり。然るに何事ぞ、政府は今に至るも在鮮內地人の功勞に一顧だも拂ふ無く。此程母國の富豪及び實業家等には授爵授勳乃至授杯等の行賞をなしたるにも拘はらず、在鮮內地人の實に與る所あるを遺忘せるは、吾人頗る不滿に堪へざるものあるべきなり。殊に母國の富豪或は實業家等の國家に貢獻する所あるは、資本力の彼に伸びたるが爲にして、在鮮內地人が空手徒拳能く今日の大地盤を開拓するに至りし精神的勞苦を想はゞ其間に大なる懸隔あるを知るに難からざる也。於是吾人は此併合一週年を機會として在鮮內地人の功勞を調査して之を表彰せむ事を、併合一週年に際し重ねて政府に勸告せざるを得ず。

東京電報

▲**閣臣略決定乎** 西園寺首相の下に閣臣に列する顏觸は原敬氏大藏大臣、松田正久氏の內務大臣、石本新六氏の陸軍大臣及齋藤海軍大臣の留任は殆んど動かざる所なるべく牧野伸顯男の入閣は確なれども文相たるか農相たるかは測知し難し奧田義人氏の司法大臣も略決定されたるもの〻如し其他貴族院より一人の入閣者ありとすれば長谷場氏の入閣は危し長谷場氏入閣すれば奧田義人氏又は貴族院方面の入閣者危く目下西園寺侯の苦心は外務大臣の人撰にして結局小村侯の留任なる形勢あり其外山縣伊三郎、藤田四郎、井上勝之助等諸氏は入閣せざるべし委細後電

▲**宮相桂公密議** 渡邊宮相は二十八日桂首相を三田の私邸に訪問し時局に關し一時間餘密議する處ありて退出したり

▲**宮相の伏奏** 渡邊宮相は二十八日更に首相を辭したる後一時十分宮內省に出勤大臣官房にて暫時執務の上直に參內北條侍從を經て陛下の御都合を奉伺したるに御座所に於て拜謁仰付られ種々時局に關し御下問を承り添しく奉答する處あり十一時御前を退出し再び大臣官房に立寄り上野秘書官と二三の用務を辨じ十二時退出歸邸したり

▲**親任式は三十日ならん** 新內閣員の親任式は卅日午前宮中に於て行はせらるべし

▲**西園寺邸の密議** 廿七日午後三時西園寺侯邸に林伯、牧野男の訪問あり原、松田兩氏と會見して密議數刻に亙りて夜に及びたり

▲**警視總監候補** 警視總監の後任は古賀廉造、安樂兼道、阿部浩氏等の呼聲あり最も有力なるは安樂氏なるが氏自からは疑を有せざれば多分阿部浩氏たるべしと政友會幹部員は語れり

日淸問題解決

▲滿洲に於ける日淸問題 廿九日午前外務省の發表によれば日淸兩國間の滿洲に於ける懸案は奉天引込線問題を調印して之又全部解決せり

▲外相官邸別宴 本邦駐剳米國大使オブライエン氏は今回伊國駐剳を命ぜられ不日出發赴任に付小村外相は同大使送別の爲め昨日同大使を主賓とし官邸に於て午餐會を開きたり

▲韓國瓦斯總會 釜山の韓國瓦斯會社にては二十八日株主總會を開き半季決算並に利益分配案を附議可決したり

▲東宮御巡覽 北海道巡啓中の東宮殿下は廿八日札幌ビール會社、札幌製麻會社第二十五聯隊に行啓あらせられたり

▲日露懸案全部解決 姉川丸贈與に關する日露兩國皇室の御親電發表せられ日露兩國懸案全部解決せり

▲乃木大將歸京 乃木大將は廿八日午後六時卅分無事新橋着歡迎頗る盛なり

▲淸國より軍艦の注文 三菱會社は淸國より注文せる淸國砲艦の造船工事に着手せり噸數は七百八十噸なり

▲沈沒艦引揚成功 旅順港外に沈沒せる露國驅逐艦ストロスイ二百四十噸の引揚成功せり

雜報

●**來年度の豫算決定期** 總督府四十五年度歲入出豫算は目下度支部に於て編成中なるが各部共も略ぼ查定を終了したるを以て來る九月七日前後の長官會議に附議したる上決定を見るべく而して同豫算案は來る九月二十日頃大藏省に回附するに至るべしと云ふ

●**葉煙草作付狀況** 京城商業會議所調査に係る本年度葉煙草作付狀況は植付當時より降雨引續きたる爲め一般に多少の被害は免れざるも昨年のそれに比すれば差したる優劣なきもの〻如し今其の筋の調査に係る各主要の地に於ける本年度作付反別及種類等を聞くに左の如し

京畿道仁川郡 二百七十町六反步
忠淸北道淸州郡 四百七十五町四反步
全羅北道全州郡 百四十八町步
黃海道谷山郡 五百六十五町八反步
江原道華越郡 五百八十四町六反步
平安南道成川郡 四百五十八町九反步
咸鏡北道城津郡 六十六町七反步
（以下朝鮮種）
大邱（東村を含む） 八十七町步
密陽 七十町步
三浪津 二十町步

●**仁川築港經過** 仁川築港準備及設計は既に成り永井技師監督の下に着々工事進捗中なるが去る三日より稻田組に於て着手したる築港締切工事は來る四十五年十一月二十四日迄に即ち四百八十日間にて完成の豫定契約を以て準備工事に着手したり而して來る九月一日より築港周圍に警燈を建設して材料運搬の敏速を期すると同時に工事の速成を計る方針なりと尚ほ該工事の竣期は本年末若くは來春早々なるべしと

●**南鮮航路新計畫** 釜山居住の荻野彌左衛門は九月一日より汽船三隻を以て釜山木浦間（三日每に一回）釜山麗水間（每日）の航海業を開始せんとし猶ほ漸次航路を擴張する計畫ありと之が爲め從來同方面の航海業に從事せる釜山汽船會社は少なからざる打擊を受くるを以て之に對抗すべく準備をなす由なれば南鮮沿岸の航路は兩者の競爭を免かれずと云ふ

●**太神宮臨時祭典** 二十九日は併合一週年紀念日に付民團にては太神宮の臨時大祭を午前九時より擧行し山縣政務總監大久保大將代理松永師團長代理倉富長官宇佐川總裁小宮次長荒井、宇佐美兩長官小原局長山形藥師川兩中佐、古城民長中野警務官永谷警視松村副官其他民團商業議員、新聞記者文武官民數百名の參拜あり尙鮮人側よりは金嘉鎭成岐運朴齊賦の貴族其他多數の參拜者ありたるが三宅神官は莊嚴なる祝詞をさゝげ式終りて休憩所に於て參拜者一同に神酒の饗應ありたり

●**大久保大將の送別宴** 二十八日午後七時より花月に於て大久保大將の送別宴を開きたるが出席者百余名にして松永師團長の挨拶に大久保大將の答詞あり却々の盛會なりしが各部長官文武官及民間有志の出席あり李完用伯も出席せり

●**水電調査開始** 河川水力電氣調査局に於ては計畫中なりし各河川水力電氣調査設計及技師技手の任命も畢り終了したるにより愈々九月始めよりこれが調査を開始する事となしたり而して右調査の順序は漢江及び錦江にして大同江は多分明年度調査するに至らんと云ふ

●**電車道の新計畫** 既報の如く日韓瓦斯電氣會社にては南大門より御成町迄に至る道路擴張完成の上は從來の單線を複線とし尙は龍山行の線路を復線とし同時に停車場より鐘橋にいたる間の線路を撤去し岡崎町より一直線に布設し更に黃金町の道路擴張後は光熙門にいたる迄の線路を敷く事に決定せるが右は何れも早きは本年中に遲きは來年中に敷設を見るべしと因に昨今運轉せる車輛數は三十二三臺にして一日の收入平均百七十圓內外なりといふ

●**雜穀收穫高** 朝鮮全道四十三年度に於ける豐作物（小豆及粟稗）の收穫高左の如し（米及大豆は既報せり）（單位石）

	小豆	粟	稗
京畿道	二四、六〇六	五一、六二五	三、五九〇
忠淸北道	二、四九一	二一、六四三	一一三
同南道	一三、八六〇	六、九三〇	一、七〇七
全羅北道	一一、三九〇	三、〇七六	五二八
同南道	一八、〇八七	七〇、一四五	三、三三三
慶尙北道	一〇、四五五	八九、五一九	二三一
同南道	一一、五五一	四、四八五	八二四
黃海道	一六九、五四八	七〇四、三九六	三三、八五五
江原道	四一、九四三	一三四、〇五四	六七、七一九
平安南道	一七、九二九	四九〇、九九六	五五、〇四八
同北道	一〇〇、三三六	四六七、〇六九	一六五、一〇五
咸鏡南道	五六、一八一	三四二、五八三	二六、八〇四
同北道	九、七〇一	二五五、七二九	八二、八九〇

●**群山近況** 群山日報は株主間の紛擾を來せしため一時廢刊したるが同地の府尹及び警察署長の斡旋により更に組織を替へて發刊することゝなり來月中旬頃其の初號を出すべく社長には水利組合長藤井寬太郞氏を推すべしといふ而して之れが組織の方法は從來の株式組織を組合組織に改め組員は從來の株式を組合に轉換する由なるが其の金額は四千圓なりといふ又同地の水道は四十五年四十六年の兩年度に於て敷設する計劃にて此の費用總計三十萬圓內十五萬圓は民團の負擔とし他十五萬圓は總督府の補助を仰ぐ方針なるが何れにしても豫定期限內には完全を見るべし電氣事業は東京の足立氏三方面より之れが認可方を其の筋に出願し居れるが未だ何れとも決定せず多分本年か或は來年早々認可の上來年末頃には工事に着手すべし尙右電氣事業の中全州より群山迄の電車敷設の計畫あり之も同じく一兩年の中に實行の運びにいたるべきかと入京中の阪上群山民長は語れり

●**探鑛事業の進捗** 昨年來着手したる探鑛事業に付最近の狀況を聞くに金剛石試錐は第一號及第二號とも出水のため一時原動機に障害を來し豫定の堀進を妨げられしも比較的良好の成績を得たるが其第一號試錐は總深六尺二寸餘にして石炭を挾める石灰岩二尺黑色硅岩三尺四寸灰色砂岩六寸の挾雜物あり第二號試錐は總深四百八十二尺八寸地質黑色頁岩なりしと而して竹試錐は栗木洞區の採掘を開始し第一號より第八號とも夫々作業をなしたりと

●**小作料改定と民心** 慶尙北道に於ける國有地小作料改正後の民心は發布當時に於ては間々誤解を招きたるものありたるも當局の熱心なる說明により爾來圓滿に進行し管內殆んど結了を見るに至りたりと

●**長官會議休會** 二十九日は長官會議の定例日となるも重要事項なきを以て休會したり

●**馬山浦の電燈數** 馬山浦に於ける昨今の電燈々火數は千百燈にして爾來益々增加の見込ありといふ

●**手形交換週報** 去る十四日より十九日に至る一週間に於ける京城手形交換所手形交換枚數二千八百三十七枚にして同金額九十五萬七千二百二十九圓十四錢了りと

●**慶北の炭鑛發見** 慶北延日郡北面下島居河在深は此程同郡邑後方山中に於て石炭礦脈を發見せるが其質良好なりと

●山縣總監の下仁 山縣政務總監は二十九日午前十時南大門驛發中山大佐本多通譯官を隨へ下仁し艦隊の午餐會に列席午後四時歸京す

●明石總長の下仁 既報の如く明石總長は二十九日午前十時下仁午後四時歸京したり

●**內地行旅客携帶煙草制限** 內地行旅客の携帶する自用煙草は從來數量に限り移入を許可せられたるが今回其數量は著しく減少せられ從來の約二分の一となり葉卷煙草五十本以內紙卷煙草百本以內刻煙草三十匁以內右二種以上の煙草混合の場合には各種に付前記數量の二分の一以內に限り移入を許可せらるゝ事に改めて九月一日より實施の筈に付き今後內地に歸るものは注意を要すべしと云ふ

●**釜山と米穀商況** 釜山に於ける去月中の米の總移出額は七萬一千七百圓にして前月に比し九万八千餘圓を減少せるが之れが品種別は玄米三萬四千餘圓精米一萬五千餘圓粗米一萬八千九百餘圓粉米千二百餘圓にして各品共著しく不況を呈せり殊に中旬以後慶山附近の米產地より盛に右二方面に輸送せしを以て益々囲着高を減少し只僅かに河東馬山下端方面より海路出廻りありしに過ぎざるが各米產地は孰れも著しく品薄を告げ中には春以來浦鹽輸出籾米の買出しに應じ一時に放賣せし結果却て食料米に缺乏を告げ當市場より逆輸送を受くる有樣にして同港日々の出廻高は甚だ減少するにいたれり從つて相場は各品共七十錢乃至一圓三四十錢の騰貴にして內地未曾有の暴騰に伴ひ漸次强氣配を持續し益々上値を呈する有樣なり次に八月中に於ける仕向地は籾は浦鹽輸出にして玄米は大阪二萬六千八百餘圓下の關五千二百餘圓其他神戶兵庫等にして精米は關門地方七千七百餘圓浦鹽二千八百餘圓巖原千四百餘圓佐須奈千百餘圓鹿見千百餘圓大阪九百餘圓なりといふ

●手形組合保證及支拂額 七月末日現在漢城外水原、平壤、鎭南浦、大邱、全州、晉州、光州の各手形組合に於ける保證及支拂並に現在高を聞くに左の如し

保證額 三五六、〇三一、〇〇〇
仕拂額 三一九、七六五、〇〇〇
現在額 七九一、三一四、〇〇〇

●新任辭令授與式 新任總督府府郡書記百餘名に對する新任辭令授與式は二十八日午前十時より宇佐美內部長官以下各局長課長立會の上長官より夫々辭令を交附されたりと

●江原道內の農作狀況 江原道高城郡地方の農作物は目下成育良好にして近來稀なる出來榮に一般人民は悅び居れり

●國有小作人組合 八月十七日實施道信川郡の國有地小作人二百四十九名を郡廳に召集し郡守は彼等に對し斯業の發達を計り小作人の保護を受くる爲め組合組織の必要なることを訓諭せし處各自欣承組合を設置し即時役員を互撰せり

●三角山の植樹計畫 三角山に於ける砂防工事は先般終了したるが其の成績非常に良好にして今回其の砂防工事を施したる處に樹苗の植栽をなすべく京畿道林業當局者に於て設計中なりと云ふ

●元山果樹園設置 農業模範場は元山支場にて明年度早々元山に出張所を新設し專ら果樹栽培を爲さんと目下準備中なり

●富平授產場の作業 京畿道富平授產場作業飼養林は楽砂驛より約三里の堂山面に在りて二町步の飼養林に八月一日以來放養せる柞蠶は頗る健全なる發育にて授產者は鳥虫害の豫防に熱心盡力しつゝなれば目下の處些の被害もなく早きは二十七日頃より結繭し初めたりと

●**新彗星の出現** 米國ニューヨーク、ゼ、チ、スミス天文臺長ブルックス氏は既に二十五個の彗星を發見し其名聲顯著なりしがまた／＼去七月二十日の夜西方に稍光强き一彗星を發見しリック天文臺エイチケン氏の算出によれば近日點通過は十月二十七日にして目下銀河圈內烏座の北東に位し光輝漸增大するを以て夕刻の天に光彩を添へ肉眼に見ゆるも近きにあるべし（京城測候所報）

●咸北の降雹 八月九日茂山郡內に降雹あり農作物の被害通計二十九町に及べりと

●慶尙南道金海郡貧民救助 慶尙南道金海郡下大上、大下、鎭建、下東、凉生洛、七山、各面の細民は洪水のため生活益々困難となりたるより郡廳にては調査の結果赤貧者百五十八名に對し救助米二石を施與したりと

●郡守の細民救助 京畿道驪州郡守閔元植は目下米價騰貴の爲貧民糊口に窮せるを聞き救助の爲同郡邑內貧民四十名に精米一石を施與したり

人私人

▲本田岩次郞（東京實業擴督府長）二十八日巴城館へ
▲宮原忠正（農林學校教諭）同上
▲井上竹治（技師）二十八日浦尾旅館
▲中野懷太郞（測量師）同上
▲飯田寬三（東亞セメント會社營業課長）同上
▲阿部安雄（技師）同上

仁川港出入船舶

▲廣州丸 二十日門司より入港
▲諏訪頭丸 同 大阪より入港
▲大有丸 同 大阪より入港
▲蓋龍丸 同 芝罘より入港
▲音羽丸 同 橫濱より入港
▲御門丸 同 大連より入港
▲大有丸 同 大阪へ向出港
▲諏訪頭丸 同 鎭南浦へ向出港
▲音羽丸 同 大連へ向出港

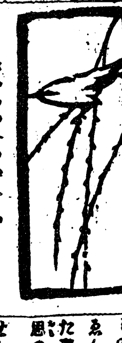
▲治外法權▼

我民團議員當選者が併合紀念の當日を以て太神宮の臨時祭を執行したのは至極國家的で余輩の意を得たるものだ▲當日祭典に列したのは政務總監を始め一般官民、特に鮮人の多くが參列したのは未曾有の事で、之れでこそ精神的同化の步を進めるのであるが、此同化法は拓殖局の調査にはない▲ナゾ每度云ふ事だが、アノ粗末なる太神宮の社殿、アノ社殿はどうしても改築造營をしなければならぬ、思ふに今の儘に措くは敬神上甚だ面白くない事だ、況んや鮮人に向かつて敬神の何物たるかを敎ゆるの要ある今日に於てをや▲併合紀念銘牌は已に大阪の造幣局で造られたソウだ、其意匠は富士山の下に鷄が鳴いて居て、其周圍を菊の花と月桂樹もて取りまいて居るのだソウだ▲ソウだ、ソウだで一向要領を得ぬ樣だが今に此紀念牌が降つて來るから見玉へ、但し此牌を貰んとするものは多少の運動を要す▲鐵眼病で病氣を癒すと云ふ藥が段々當地へ入込んで來るようだが、此藥の取締に付き當局者は嚴重に勝間をすべし▲東電に曰く新內閣は稅制整理の爲郵便稅を値上げすべしと、思ふに之れ新內閣に對する中傷、記者や信せんと欲するも能はず▲總督辭表捧呈の報今や鮮土一般官民に傳はる、而かも一人の立つて噪ぐものなし、思ふ總督更迭の如き今や一些事として、人心動搖の原因を爲さず。

講談

明石志賀之助（三）

其の後介錯に出た雷電龍右衛門に扇子を呉れ、辻風雷五郎に弦を呉れる。之を弓取、扇子、弦の三役の嚆矢。されば二段目に取つても、此の三役は大關關脇、小結の資格で取るのでございます、其の勇氣の溢ちて居る階段を上り掛れ多くも御前に近づき、明石志賀之助股股を踏み、右の手を延しますると手の平に鹽を盛つて、手形を押す、當今も横綱土俵入りに、下からズツと手を上げて來て、陽の手の平を陰に返すは此の形ちを遺してあるのでございます、茲で天盃を賜はり、御劍拜領、此の時、雷電龍右衛門が日下開山の號を持つて前きに立ち、辻風雷五郎が太刀を持つて後に着きました。其の形が今日まで殘つて居ります。扨上々の首尾で油の小路の旅宿まで下つて來ると、明石は實徹ウットりとして終つた、醫師が來て居るから、藥用手當をして其の夜の中に志賀之助を、拜領の品々と見せて長持へ入れ、細川の家來が附いて密かに細川の御屋敷へ連れて參り、翌日又其の如くして細川御用といふ札を長持へ附けて、膽前臍れた若武士が警護をして、中仙道を江戸へ出て終ひました、跡に殘つた夢の市郎兵衛、モウ何日死んでも惜からぬ命と油小路へ暫らく滯在のつもり、此方は朝比奈藤兵衛力なく／＼仁王の死骸を骨に致して、是れは故郷肥前長崎丸山へ趁り豫ての約束だに依つて仁王の骨を拾ひ東育ちの奴輩を片ツ端から皆殺しと、浪華三郷の達衆總勢五百有餘人、都で喧嘩をしては濟まんぜ、東海道へ出るも中仙道へ出るも關東者の觀宿、大津八丁打出ケ濱に、サア來いと待ち構へたる人々は、朝比奈藤兵衛、小橋の伊之助、喧嘩屋の五郎右衛門、小喧嘩屋五郎吉、有頂天の九郎兵衛、今辨慶の辰五郎、弟太左衛門、水滸買の長吉などいへる、浪華に高名の俠士だ發先立ち東奴を生きて江戸へは戻すまいと待ち受けて居る、喧嘩に馴れたる夢の市郎兵衛、間者を出して様子を聞かせると、浪華の達衆が大津八丁に見張つて居るといふ、宜し、目に物見せて呉れんと、愈よ四月二日出立といふことを言ひ觸らした。之れを聞込んだ藤兵衛サア來いと待つて居ると、所が四月二日一日待つても姿が見えない、ソコデ藤兵衛が間者を出して搜らせると、間者が歸つて來て「親方、立たうとしたら明石が病が再發して立つ事が出來んで一日、二日逗留だ」藤「馬鹿ア見やがれどうかマア皆さん、モウ二三日東奴が命を助けてやつて下せえと」と、ウ笑ふ、市郎兵衛も油の小路で笑ひながら「乃公の計略と知らず、空ク風に吹かれて夜がな夜ぴて頑張つてやがる、馬鹿野郎又脅かしてやらう」と中一日置いて、ソレ明石が立つと言ひ觸らした、サア來いと藤兵衛手配りをして居ると、又一日經つても來ない、馬鹿ア見ろと朝比奈藤兵衛冷笑ふ。



花柳評判記（十一）

（藝者丙）お銚子の途切目へれビールでもと言ふ格でチヨツコン喋舌らして貰ふわ。いさゝか愚痴になりますから其邊悪しからず………一體全體京城の藝者位無調々々しい者は世の中にありませんね。なにも朝鮮くんだりまで酒落や冗談に往着る様な唐變木は無い筈ですが、さて來て見ると吾々の醜頭さ加減に呆れましたね、藝者も斯う成るといさゝかお茶氣がありすぎます……。なんですつて？せられで青い息を吹いてるつて？たまらないね、止て頂戴、それでなくても醜座の黄色れくびが出るんだから………今度出來た京城券番とかは知りませんが、私の話は料理屋の内藝者に就て申上るんですから前もつて一寸斷りして置くわ。浪花節の枕話じやないが事や細かに言仕すれば、御承知の通り花代が一時間七十錢と言ふんですが、七三も無ければ叩き分けも元來なし、

花代全部

親方の收入でしよう、そこで藝者の取る處はと言ふと、偶に氣のきいた客が區助の御祝儀でも下されば夫れが餘儀ですが、お客様にしてから一時間七十錢の花代を拂つてその上に二圓とか三圓とかの御祝儀は出す方が野暮かも知れません子、東京は御祝儀が高いと言ひますが、其代り玉代が一時間三十錢とか二十五錢とか言ふんですから自然平均が付いて行く譯で別に高いと言ふんではありません。夫れですから京城で遊興つけてるお客はもう來る度に御祝儀を出すなんて方は先ありません、随而御祝儀の貰ひなどは髪結錢にも足らない位ですわ。處で藝者と云ふ商賣が腰巻一ツで、手でも叩いて若何でも唄へば濟むんならそれでも結構ですが、第一季節々々には洗濯物でもう相應なものを着なくては納まりますまい、

衣裳から髪の物から持物、長襦袢から腰巻、お湯錢から糸代、

積つて見ると少さいお金じやありませんか、これは總て藝者がして行かなければならないんで、親方のほうは

三度の御飯を一度、

それも犬だつて食べない様なお香物に朝丈ほんのおまちない許りのお惣菜が付くばかりのとあてがへばそれで吾れ關せずのゑん魔顔、やれ衣裳がないの足袋がきたないのと、口に税金がかゝらないと思つて、勝手な熱を吹くんぢやありませんか、愛に於て藝者なるものが

涙を飲んで枕金を勉強しない

譯にゆかなくなるでしよう、處がその枕金も全然藝者の手には這入らないんだから堪りません。まづ三十圓とすればその内二割が仲居の手數料、殘金の二十四圓を親方と藝者で分けるんですから、結局藝者の手へは十二圓しか這入らないと言ふ事になります、そこで關係のある客へ無心と言ふ順になるんですが、それが當節の事ですもの無心を言へばお客が逃げる、お客を逃がせば親方が八釜敷いから、苦しい處を辛抱して居るとお客がやに下ると言つた様な譯じやありませんか、せまじきものは宮仕へと諺は言ひましたが、内藝者を眞實しんからせまじきものは、こんな事なら自分の生れた土地で親兄弟の顔を見ながら辛抱しなかつたらうと、お茶挽く夜半の藝者部屋で泌々思へば涙の種、また今年も雁の來る時節になつたら泣かされる事か………皆さん御免なさい（と襦袢の袖で目のふちを拭く）（大向ふ）こまけれぞーイツ、香羽屋アツてんだ、判つたか此ン畜生

併合紀念當日の市中

二十九日の併合紀念日に於ける京城市中は豫て大に慶祝の意を表すべく準備し居りしを以て軒毎に國旗球燈を掲げ吊し其の他紅白ダンダラ染めの布を以て巻きたる大門を町々の入口に建て祝賀を

装飾し

夜間の壯觀を想はしめたるが今各町に就き當日の模様を掲ぐれば

各通りの商店は何れも店頭

左の如し

▲本町一二三丁目

本町三丁目の入口に大門を設け電球を吊し兩側の商店は國旗球燈は勿論多くは定紋打つたる幔幕を張り店頭の装飾却々に華やかなり中に三越呉服店は一方の陳列店に朝鮮婦人の人形を飾り一方には空中飛行器を宙に吊し又織居時計店は時計の器械を巧みに應用して流鏑車、模型を作り其の他辻屋龜屋森安の各商店何れも思ひ〳〵の意匠を凝らし一般通行人の眼を驚き居れり

▲本町四五丁目

兩側の軒下に櫻の花をさし大小の球燈を吊し各商店櫻の花の装飾を施し[illegible]五丁目の入口には[illegible]電球を吊し中にはイルミネーションを装設したる商店あり

▲長谷川町

南方の入口にアーチを設け屋間に『祝併合一週年』と扁額を掲げ兩側には櫻の花と球燈とを入れ違ひに吊し[illegible]其の他の意匠も却々に[illegible]

▲明治町

一二三丁目球燈[illegible]櫻の花等を吊して花々しく就中日

韓印刷會社員二百餘名の半數は韓装にて太神宮に參拜したり

▲鮮人部落

鍾路通り[illegible]他鮮人部落は一般に國旗球燈を掲げ慶祝の意を表したるが中に[illegible]

二十九日午後六時半於倭城臺奏樂堂
南山公園花火大會
李王家洋樂隊樂手（二十五名）の演奏

韓瓦斯電氣會社に於ては[illegible]の電燈と百燭光の電燈とを點ずべく装飾しありたり

●龍山方面

併合紀念祝賀の[illegible]

[illegible]付番せる[illegible]行の興行は大に觀物な[illegible]況は大盛上の如し

●男の上氣掛りで

▽水原から逆戻り

[illegible]思ふ其の戀を思案の中[illegible]て見ても別れて暮す[illegible]れぬとなつた譯の日[illegible]短かにカイツマンで[illegible]○○樓に松崎良作[illegible]ラの好男子あり好男[illegible]ふ女の好く者なるを好[illegible]る美人でない女なら[illegible]乙なもの今年花咲く彌[illegible]風魂奪つたのが花房[illegible]の女中とやらの小島[illegible]情とは成りに危で爾來[illegible]樂み居りし此頃に至[illegible]郷合にて郷里山口へ[illegible]事となりしより勢ひ良[illegible]はならぬ事となつたる[illegible]を戀しきことに思ひ或[illegible]公園に誘ふて事情を打[illegible]思召さは上分別を貸し[illegible]んで掻き口說き立て[illegible]元より左様した變情の[illegible]とも思ひ歸へ一度はなけ[illegible]つて上分別の持合せも[illegible]を更かした果が濫回[illegible]れて説諭をされたが落[illegible]れ〳〵と成るも末は必[illegible]經に浮氣をして下さん[illegible]もするなよ致しません[illegible]良作の上に騰して演草[illegible]と堅く言葉を番つて翌[illegible]もの〻考へると情人の[illegible]て呉れた鉄の穴が斷つ[illegible]如に思へは堪らず悲し[illegible]あて流る〻煙の遠くな[illegible]心にか〻る耶斗り若し[illegible]に捨てられはしないだ[illegible]ふとモウ矢も楯もあら[illegible]て發病したりと僞つて[illegible]良作さん御無事で御座[illegible]ナ達者で暑さの障りも[illegible]を三年も別れて居た如[illegible]居るとか、出來たもの[illegible]野暮を云はすにオイ兄[illegible]て遣んなせらな

●南山町の失火

二十九日午前一時半頃本願寺裏手南山町二丁目雜貨酒商金光善方より出火したり、[illegible]町四十二番戸高野義雄居宅及秋吉富太郎氏方物置場に類燒して午前二時過ぎ鎭火したり場所が總督府附近で見へしより南部署及銅峴分署の警鐘は非常的に鳴らしたる事とて市内の消防は勿論長谷川町守備隊よりは石淨大尉一個中隊を率ひ消防器を携へ現場に馳付け消火に從事し南部署よりは先頭に中田警部馳付け消火を指揮し警官、消防及軍隊等の働きにて大事に至らずして鎭火したる發火の原因は金光善の妻金姓女が炊事場に於て失火したるもの〻如く目下取調中損害額秋吉氏八百餘圓に高野及火元にて二百五十餘圓なりと

●紙屑買の窃盗

仁川府内洞二十七統五戸金仁守（十七）は二十八日午前十一時迄古新聞紙買を粧ひ花房町二丁目津川勇助方にて家人の隙を窺ひ室内に入り物品を捜し居たるを同家雇人のとく認められ狼狽し跣足のまゝ逃走せんとせしを同町三津忠次が追跡取押へ其筋へ訴出でたり

●浮浪者拘留さる

三重縣阿山郡上野町生れ岡田逸之助（四十二）は窃盗前科三犯の曲物にて一定の住所職業なく諸所を徘徊するより浮浪罪として西部署に拘留十日に即決せられしが餘罪ある見込にて犯罪捜査中

●腸窒扶斯に罹る

佐賀縣人當時獨立門通り三丁目五番戸居住京城監獄看守本山梓（二十五）は腸窒扶斯に罹り順化病院に入院

●演藝だより

▲歌舞伎座　青山式キネオラマにて大喝采を博しつゝあり

▲浪花館　大入札止の盛況を博せる桃中軒雲柳の一行三十日の讀物は左の如く場代八十錢、五十錢、三十錢の三等あり

義士銘々傳（柳若）一休悟道錄、左甚五郎（千里庵八千代）東京警視廳混氣青年立志、伊藤公爵の傳（花園案）赤穂義士傳の中倉橋傳助（桃中軒雲柳）

▲壽座　初めから終迄大入を續けたる松旭齋天勝の一座は二十九日限り打揚げたり

▲龍山座　宮岡天外一行の大奇術なり

●雲柳を聽く

二十八日夜浪花館に雲柳一座を聽く時遅れて柳若は聽かず千里庵八千代の左甚五郎輕妙なる節回し洒脱なる語り口巧いものなり花園案の新派講談芝居掛りの科白表情もよく流石に夫れと首肯かれたり雲柳當夜の讀物は岡野金右衞門の繪圖面取りと南部坂雪の別れの二席なりしが現在の浪花節なるもの〻塑が琵琶に傾き長唄に擬し常盤津、長唄、追分と口から出任せに浪花節獨特の節を崩して居るを面白からず思ひ居りしが雲柳に於て其の浪花節を聽きたり氣取つた所なくして下品ならず文字の素養もあることとて文句に粗雑もなく口調も明晰なりしは嬉しかりし（△生）



●青木堂の食堂開始

豫て新築中なりし京城本町一丁目青木堂の理想的食堂は漸やく落成し此の程より開業したるが階下は例の歐米各地の粹を蒐めたるデパートメントにて階上は大食堂及び小食堂等の設けあり多勢の宴會にも又た一人づゝの食事にも適し居り且つ待合室化粧室等の設けさへありて宴會、相談會等には實費にて席貸をなす由なるが小食堂は尤も輕便に洋食一品づゝの誂へ其他朝日生ビール及びアイスクリーム其他コーヒー紅茶一杯にても注文に應ずる由

名士婦貴人訪問記

松溪生

●村井弦齋氏の化粧談
石鹸と洗粉は何れがよきか 洗粉は石鹸よりも遙かに優れり

七月二日
午後一時三十分

平塚驛を前に約二丁の松林中に一萬餘坪の形勝の地に瀟洒なる別荘構へ松風軒を號り涼味津々たる裡に珠樹遠もあれば菫籠もある是れなん嘗に報知新聞の家庭小說を以て淑女紳士方や嬢様若様方の大歓迎を受けて成功したる村井弦齋君の居である。記者は君の化粧品に對する意見を叩くべく刺を通じたところ快く其室に引いて左の如く趣味ある談話を試みられた。

如何にせば最良なる衛生的化粧料を得らるべきかといふ問題は、私も多年實驗の實の醫士や學士若くは專門家の意見を伺ひ、又各種の材料を取寄せて研究しましたが、未だ解決するまでに至らないのです。併しながら私の研究中の見地から申しますると、先づ皮膚の衛生といふ上から云へば、洗粉を基礎として精製した洗粉が一番理想に近いものゝやうに思ふのであります。それで今日の所で洗粉と石鹸とを比較して洗れが皮膚の營養を保ち、脂肪を去り血液の新陳代謝を盛んにし、肌を滑かに且美白ならしむることか出來るかと云へば、無論洗粉の方が良び洗粉と石鹸の比較論は殆ど其審擧を論ずる餘地はないに至つて居るのです。併しながら洗粉にも種々雜々のものがありますから、一概には賞表は出來ませぬか、石鹸と比較すれば假令五圓十圓の價がある石鹸でも皮膚の衛生を保つ上には多くは危險である。今石鹸を化學的に分析したならば或は游離脂肪存在、若くは刺激性の混合物のあることを證明するのであります。總る關係からして現に早稲田の大隈伯の所では化粧料としては石鹸といふものは一切用ひないやうに聞いて居る。又皮膚病の加藤ドクトルは多朔病人を診察した後で一且石鹸で洗ふと其儘には置かないで、スグ「ワスリン」を塗つて一面には皮膚の營養を保ち、一面には酸、脂の豫防をするやうであります。如何に石鹸が刺激性の包含物を含んで居るかといふことは海岸地方を旅行するとスグ解る。即ち清水の乏しい鹹水を含んで居る井戸の水で頭を洗ふときに石鹸を使ふと忽ち毛髪が棒のやうになつて其不快は實に言語に絶する位であります、此の場合に洗粉を用ゆると滑かに納まるのです。是等は畢竟其包含分子が鹹水に抵抗しない特性を持つて居る偶然の關係でもありませうが、現に角洗粉と石鹸の善悪は、是等を以ても證據立てることが出來ます。要するに私は衛生的化粧品として洗粉の如きものを基礎として精製したるものが最も良いやうに思ひますが、クラブ洗粉の如き成功したる化粧品が今後益々此の方面に向つて私の理想的研究を加ふる方針を御執りになることは、私の最も賛成するところであります。

●尾崎東京市長夫人の談

暑は暑れどツーと吹く野月の風に涼るが如き新秋の趣を偲び品川東禅寺畔の尾崎東京市長の邸にテオドラ夫人を訪ねて其化粧談を求めしに左の趣味ある批評を試みられた。

婦人の化粧は勿論推奨の徒でありますす是れに就て科學的の話を致す事は六つかしい事ですが、自分の考へでは凡て婦人の化粧は原則に於て身分相應と云ふ事が肝要と思ひますのです即ち貴婦人は貴婦人らしく令嬢は令嬢らしくして、かふおりにも佛蘭の御高眼などに從られない様にしたいと思ひます。世間には教育の程度にも依りませうが俳優や藝妓を真似てコッテリと厚化粧をなさる方も往々ある樣ですが誠にあれは見悄いもので、西洋でも斯る人が之を見ると大變笑ひます、西洋では自然美と人工美の調和と云ふ事に重きを置いて居る樣です、それで自然美と人工美の調和は何に依つて得らるゝかと申しますれば淡化粧に依つて保たれます、之と同時に其品質は衛生經濟が伴つて居るものでなければなりませぬ、成程佛蘭西の製品などには品質の上等なものは澤山ありますが、是れは一般に用ゐる事はむつかしい樣です、此點から見ますとクラブ白粉クラブ洗粉は私共に取て身分相應と云ふ事と衛生經濟にも適ひ且つ使用後の心神快感も云ふに云はれる味がありますから、私は内國製造の白粉洗粉では尤も適總に適つたものと思ふて愛用して居ります。